

平成30年度取組状況及び令和元年度事業計画について

項目	具体策	30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H31.3.月末時点)	30年度 評価	令和元年度事業計画 重点取組事項
I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1 府内の各図書館とのネットワークの強化	(1) 総合目録ネットワークシステム(K-Libnet)の確実な運用と加盟機関の拡大	○総合目録ネットワークシステムの充実(継続) ▷ 検索システムに連携する大学図書館及び国会図書館関西館を追加	○総合目録ネットワークシステムの充実と加盟機関の拡充 ▷ 国立国会図書館関西館の検索追加(10月3日) ▷ 京都工芸繊維大学、京都府立大学、花園大学 83機関⇒86機関	5	○総合目録ネットワークシステムの充実と加盟機関の拡充 ▷ 86機関⇒96機関 特別支援学校9、総合教育センター、同北部研修所、京都橋大学(予定) ○大学との相互貸借(拡充) (京都橋大学等を予定) ○産官学プロジェクト(継続) ▷ AIワーカーによる書誌割れの統合を推進 ▷ 書誌データのリッチ化(総合目録における書影表示等)を検討 ○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ○市町村立図書館等への職員巡回(継続) ▷ 年間3回・6コース を各2～3人で、 各訪問時間60分 で巡回
	(2) 府内各大学との相互貸借の促進	○総合目録ネットワークシステムの加盟機関(拡充) ▷ 83機関⇒87機関 ○大学と連携して相互貸借の利便性を高め、より効率的に資料を府内全域で共有 ▷ 大学との相互貸借(拡充) ⇒大学4校と協議(京都府立大学・京都工芸繊維大学等)	○大学との相互貸借(拡充) ▷ 京都工芸繊維大学、京都府立大学、花園大学 6大学⇒9大学		
	(3) 共同研究等を通じたシステム改善と利便性の向上	○総合目録ネットワークシステムの充実を図るための国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクト(継続) ▷ クラウドソーシングで突合したもののうち、約500冊について現物の書籍等と突合(6月～)	○産官学プロジェクト(継続) ▷ 国立国会図書館所蔵資料とともに、府内図書館20館の所蔵資料約500冊について、現物の書籍等を調査し、クラウドソーシングで突合したデータ結果を検証、書誌割れのパターン分けが一定可能になった。		
	(4) 府内の図書館との物流改善	○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ○市町村立図書館等への職員巡回(継続) ▷ 年間4回・5コース・2～3人	○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回(継続) ▷ 巡回回数 ② 376回→③ 366回 ▷ 搬送冊数 ② 55,384冊→③ 57,322冊 <上記冊数以外に学校支援セット貸出 19,617冊、府立学校機関貸出 5,315冊あり>		
	(5) 職員の府内各機関巡回の維持・拡充		○市町村立図書館への職員巡回(継続) ▷ 年間4回・5コースを各2～3人で、各訪問時間50分で巡回		
2 市町村立図書館等への支援	(6) 市町村立図書館支援のための資料の充実	○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入	○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ ② 6,825冊 → ③ 購入冊数5,951冊 ▷ 内リクエスト受付数:② 344件→③ 386件 ▷ 資料の収集方針に基づいた資料の購入 12,974冊	4	○市町村立図書館等支援のための資料の充実(継続) ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入 ▷ 市町村立図書館等からのリクエストによる資料の購入 ○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 市町村立図書館等からのリクエストによる資料の購入 ▷ パッケージ化した展示資料の貸出(新規) ○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 市町村立図書館等の職員巡回(年間4回・5コース・2～3人) ▷ 年度当初に市町村立図書館長会議を開催 ○市町村立図書館職員等の研修(継続) ▷ 年間8回程度研修を実施 ▷ うち市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を試行的に実施(年間3回程度)(新規) ○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応
	(7) 図書館運営にかかる情報の積極的な収集と提供	○市町村立図書館等からのリクエストによる資料の購入	○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供(継続) ▷ 年間4回・5コースを各2～3人で、各訪問時間50分で巡回 ▷ 市町村立図書館長会議開催(4月25日)		
	(8) 市町村立図書館職員等へのより充実した研修の実施	○市町村立図書館職員等の研修(継続) ▷ 年間8回程度研修を実施	○市町村立図書館職員等の研修(継続) ▷ 相互貸借初心者研修(5月24日)、レファレンス(初級)研修(7月13日)、 ▷ 【出前研修】(新規) 10月2日(京丹後市立図書館:レファレンス) 10月26日(亀岡市立図書館:図書館業務入門) 11月29日(八幡市立図書館:図書の新規)		
	(9) 市町村立図書館のレファレンス機能充実への支援強化	○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応	○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援(継続) ▷ 市町村立図書館等からのレファレンス(47件。K-Libnet総数287件) ○市町村立図書館と協働したイベントの開催 ▷ ウィキペディアタウンへの協力(南山城村 7/22、京丹後市 9/8)		
	(10) 各機関で協働した展示・イベントの開催				
3 学校支援の充実	(11) 児童・生徒の調べ学習や学生の調査研究の積極的な受け入れ	○調べ学習や調査研究の受け入れ(継続) ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示	○調べ学習や調査研究の受け入れ(継続) ▷ 受入実績…34校・団体、計507人 ▷ 小2校(91人)、高校5校(128人)、大学12校(133人)、専門学校1校(74人)、府内教員団体2団体(14人)、府内行政1団体(10人)、他府県の図書館・行政等8団体(23人)、外国の大学等3団体(34人) ▷ 京都教育大学教育学部教育教員養成課程国語領域専攻(23人)教科書を使つての調べ学習を12月5日実施。 その成果をエントランスで2月8日～2月24日まで展示。 ▷ 京都府立大学キャリア演習の学習成果をもとに、大学生向け案内パンフレットを作成(10,000部)	5	○調べ学習や調査研究の受け入れ及び研修機会の提供(継続) ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 小中学校教育研究会、京都府立高等学校図書館協議会等への研修機会の協力 ▷ 大学や専門学校の調査研究の受け入れの促進 ▷ 大学生向け案内パンフレットを府内各大学に配布・広報 ▷ 特別支援学校長会と連携した資料の充実策について検討 ○大学からのインターンシップの受け入れ ▷ 京都女子大学司書課程履修者のインターンシップの受け入れ ○学校図書館運営のための支援(継続) ▷ 総合教育センター主催「図書館教育講座」への協力 ▷ 府立学校への機関貸出冊数 5,315冊 ○学校支援セット貸出資料の充実(継続) ▷ 府内小中・高等学校へのセット貸出冊数19,617冊 ▷ 総合教育センター(北部含む)での学校支援セット貸出の展示(7月～) ▷ 総合教育センターの協力のもと、ホームページを大幅改善 ▷ 学校支援セットの案内パンフレットを新規作成(15,000枚) ▷ 府立高校図書館協議会司書部会が実施したアンケート結果をもとに充実策について検討及び司書部会での意見聴取 ▷ 小・中学校教育研究会図書館教育研究部会への学校支援セット貸出の説明(6月～計7カ所) ▷ 市町村立図書館・読書施設職員巡回において学校支援セット貸出充実に向けて意見聴取及びチラシの配布依頼 ○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会役員会で意見を聴取 ▷ 京都府立高等学校図書館協議会特別支援ブロックの研修会を図書館で開催(12月27日 学校支援セットの説明及び館内視察
	(12) 学校図書館運営のための支援の充実	○調べ学習や調査研究の受け入れ(継続) ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示	○大学からのインターンシップの受け入れ ▷ 京都女子大学司書課程履修者15名のインターンシップを受け入れ		
	(13) 学校支援セット等の資料の充実と提供方法等の改善	○学校図書館運営のための支援(継続) ▷ 総合教育センター主催の「図書館教育講座」への協力 ○学校支援セット貸出資料の充実(継続) ▷ 小・中・学校教育研究会図書館教育部会、府立高校図書館司書部会と連携を図った学校支援セットの充実(新規) ○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会と連携した資料の充実を検討	○学校支援セット貸出資料の充実(継続) ▷ 府内小中・高等学校へのセット貸出冊数19,617冊 ▷ 総合教育センター(北部含む)での学校支援セット貸出の展示(7月～) ▷ 総合教育センターの協力のもと、ホームページを大幅改善 ▷ 学校支援セットの案内パンフレットを新規作成(15,000枚) ▷ 府立高校図書館協議会司書部会が実施したアンケート結果をもとに充実策について検討及び司書部会での意見聴取 ▷ 小・中学校教育研究会図書館教育研究部会への学校支援セット貸出の説明(6月～計7カ所) ▷ 市町村立図書館・読書施設職員巡回において学校支援セット貸出充実に向けて意見聴取及びチラシの配布依頼		
	(14) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化		○特別支援学校への支援の充実(継続) ▷ 特別支援学校長会役員会で意見を聴取 ▷ 京都府立高等学校図書館協議会特別支援ブロックの研修会を図書館で開催(12月27日 学校支援セットの説明及び館内視察		

平成30年度取組状況及び令和元年度事業計画について

項目	具体策	30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H31.3.月末時点)	30年度 評価	令和元年度事業計画 重点取組事項
4 子ども読書活動の支援	(15) 児童サービス等に関する情報の集積と発信		○府内市町村図書館での児童サービスをHPで紹介 ○子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数(9,566件) ▷ 11月7日京都府庁から入選作品を巡回展示(34施設)	5	○府内市町村図書館での児童サービスをHPで紹介 ○子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数の増加(10,000件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(34施設) ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施《継続》 ○家庭支援総合センターへの貸出事業《継続》 ○教育支援センター・適応指導教室及び府教委認定フリースクールへの本の貸出事業《新規》
	(16) 子ども読書本のしおりコンテスト等の事業推進	○子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数の増加(10,000件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(33施設) ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施《拡充》(年間18団体)	○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施《継続》 ○インターンシップによる読み聞かせ ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタで「アフリカ民話のおはなし会」を開催、インターンシップの学生3名により、子どもたちに読み聞かせを実施(10月21日) ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業100冊《新規》		
	(17) 子ども読書活動に関するワークショップ等の実施	○長期休暇等を活用した子どもの読書活動を支援する取組を研究 ○児童サービスにかかる研修を実施	○長期休暇等を活用した子どもの読書活動を支援する取組を研究 ▷ 三重県立美術館で実施した子どもの読書活動事業を視察(5月4日) ○インターンシップによる読み聞かせ ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタで「アフリカ民話のおはなし会」を開催、インターンシップの学生3名により、子どもたちに読み聞かせを実施(10月21日) ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業100冊《新規》		
	(18) 多様な講師を招聘した研修の実施				
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、歴史と立地を活かしながら、幅広い調査研究のニーズに応えます					
5 多様な資料の収集・整理・提供	(19) 収集方針にそった多様な形態の資料の積極的な収集	○収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集	○収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集(12,974冊) うち、調査研究に資する1万円以上の図書691冊購入(延べ貸出221回) ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会(活用講座)により視聴覚資料の提供機会を拡大(今年度5回)、上映用のDVD資料収集を強化	4	○収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集 調査研究に資する図書の積極的収集及び提供 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会(活用講座)により視聴覚資料の提供機会を拡大 ▷ 上映用のDVD資料収集を強化 ○目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 京都橋大学等《追加予定》 ▷ 産官学プロジェクトの実施《継続》 AIワーカーによる書誌割れの統合の推進と書誌データのリッチ化(総合目録における書影表示等)を検討 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力《継続》 ▷ 遡及入力と登録点検 ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録
	(20) 目録・検索機能の向上	○目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクトの実施 ▷ 検索システムに連携する大学図書館・国会図書館関西館を追加(大学図書館4館) ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力	○目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国会図書館関西館、京都工芸繊維大学、府立大学、花園大学(追加) ▷ 産官学プロジェクトの実施《継続》 国立国会図書館所蔵資料とともに、府内図書館20館の所蔵資料約500冊について、現物の書籍等を調査し、クラウドソーシングで突合したデータ結果を検証、書誌割れのパターン分け等が一定可能となった。 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力 ▷ 遡及入力と登録点検(343誌) ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録		
	(21) 限られた開架スペースへの配架の工夫				
6 十分な収蔵空間の確保による資料の的確な保存	(22) 保存センターの役目を担う図書館としての収蔵量の確保	○収蔵量の確保 ▷ 収蔵スペースの確保に向けた他施設の研究	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認	3	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認 ○資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本の除籍
	(23) 資料の適切な保存と書庫環境の改善	○資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本調査の実施と適切な廃棄	○資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本の除籍(580冊)		
	(24) 府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管				
7 資料館・博物館・大学等と連携した文化資源の情報発信	(25) 府立総合資料館との連携の強化		○博物館等の関連施設との連携《拡充》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ◊「足もとに眠る京都～考古学からみた鴨東の歴史～」(H30.3.23～6.27) ◊「ノーベル賞化学者を育てた教室」(H30.10.3～12.9)	5	○博物館等の関連施設との連携《継続》 ▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施 ▷ 有斐斎弘道館との連携による企画の実施 ○大学等との連携の強化《拡充》 ▷ 大学生・専門学校生のゼミ・セミナー等の誘致《新規》(大学・専門学校と連携し、文化資源の活用を促進し、図書館に来館するきっかけづくりとする) ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ▷ 文化庁との連携《新規》 文化庁地域文化創生本部と連携した事業の実施とブックリストの作成・配付 ▷ 京都SKYセンターとの連携《新規》 京都SKYシアタ大学の講座開催による文化資源活用の促進 ○近隣文化施設との連携の強化《継続》 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業への積極的な参加協力 ○大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都橋大学等《予定》
	(26) 博物館等の関連施設との連携の強化	○京都学・歴史館との連携 ○博物館等の関連施設との連携《拡充》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示の実施(「足もとに眠る京都～考古学からみた鴨東の歴史～」H30.3.23～)他 ○大学等との連携の強化《拡充》 ▷ 有斐斎弘道館と連携した企画展示と図書館活用講座の実施《新規》 ▷ 京都府立医科大学附属図書館での展示に資料を貸出 ▷ 府内の大学等の研究者を招いて、図書館連続講座の実施(年間8回) ○近隣文化施設と連携《継続》 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催事業に積極的に参加 ◊「岡崎プロムナード星の饗宴(京の七夕連携事業)」にあわせ、「音の図書館」を実施 ・府立鳥羽高等学校吹奏楽部による演奏 ・内田奈織氏等によるハーブとオーボエ演奏による館内コンサート ・演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ◊「岡崎ときあかり annex2018」で府立図書館賞の授与と風除室で受賞作品映像の展示 ◊芸術イベント「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサートに協力 ・演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 他 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ◊「明治150年展 明治の日本画と工芸」(H30.3.20～5.20) 他 ○大学との相互貸借《拡充》 ▷ 大学4校と協議(京都府立大学・京都工芸繊維大学等)《再掲》	○博物館等の関連施設との連携《継続》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ◊「足もとに眠る京都～考古学からみた鴨東の歴史～」(H30.3.23～6.27) ◊「ノーベル賞化学者を育てた教室」(H30.10.3～12.9) ○大学等との連携の強化《拡充》 ▷ 有斐斎弘道館との連携による活用講座を実施 活用講座「京菓子をデザインしよう」(7月22日) ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ①4/29(日)105名、②5/27(日)110名満席、③6/17(日)103名、④7/14(日)110名満席、⑤9/9(日)51名<雨天>⑥10/14(日)100名、⑦11/11(日)70名、⑧12/9(日)85名、8回計 683名 ○近隣文化施設と連携《継続》 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ◊「横山大観」(H30.6.23～7.22) ◊「東山魁夷」(H30.9.6～9.22) ◊「藤田嗣治」(H30.10.26～) ▷ 京都市コンサートホールとの連携による活用講座+ナクス(音楽データベース)体験を実施(8月12日) ◊「ドビュッシー没後100年企画 レクチャー&音楽鑑賞、ナクス体験」 ▷ 岡崎プロムナード:星の饗宴「音の図書館」の実施(8月11日土祝) ◊府立鳥羽高校吹奏楽部による演奏 17:20～18:00 観客約250名 ◊音の図書館館内コンサート 19:00～20:00 内田奈織氏によるハーブ演奏 応募139名 当選111名、演奏者に関連した蔵書を会場に展示 ▷ 岡崎ときあかり annex2018への協力 ◊9月15日(土)書道パフォーマンス実施 17:20～18:00 府立洛西高校書道部、府立東道高校書道部 観客約300名 ▷ プロジェクションマッピング府立図書館賞授与 吉橋祐香さんの作品「平成最後の夏祭り」 ※9月19日～10月24日まで図書館エントランスにて動画で放映 ▷ 「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサート 6月23日(土)19:00～20:00 青葉市子(ギター弾き語り)、演奏者の関連蔵書を会場に展示 ▷ 近隣美術館と連携し、館内資料の魅力を前景化した活用講座を実施 ◊「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(細見美術館に合せたコーナー設置) ◊「藤田嗣治挿絵紹介+ワークショップ」(近美に合せたコーナー設置) ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタ2018への協力《新規》 ◊本山妙伝寺でのインターンシップの学生3名による読み聞かせ(10月21日) ○大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都工芸繊維大学、京都府立大学、花園大学		
	(27) 大学等との連携の強化				
	(28) 近隣文化施設との連携の強化				
(29) 府内各大学との相互貸借の促進(2再掲)					

平成30年度取組状況及び令和元年度事業計画について

項目	具体策	30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H31.3.月末時点)	30年度 評価	令和元年度事業計画 重点取組事項	
8 電子図書館サービス・デジタルアーカイブなどへの展開	(30) 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実		○国立国会図書館デジタルを活用した館内講座の実施 ▷ 「藤田嗣治挿絵紹介＋ワークショップ」 ○利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▷ ナクソス(音楽データベース)やDVD資料を利用した活用講座の実施 ▷ DVD上映会「ギョースターブ・モロー/クリムト」(4月28日) ▷ DVD上映会「歴史秘話ヒストリア:西郷隆盛」(8月12日) ▷ ナクソス体験「ドビュッシー没後100年企画」(8月12日) ▷ DVD上映会「東山魁夷」(9月29日)「リュミエール」(11月23日) ▷ DVD上映会「やなせたかし100年インタビュー」(3月10日) ▷ データベースによる展示企画 ▷ 職員向け研修(医中誌Webデータベースの活用:10月25日) ▷ 職員向け研修(官報検索データベースの活用:1月24日) ○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▷ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力	4	○国立国会図書館デジタルを活用した館内講座の実施《継続》 ○利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▷ ナクソス(音楽データベース)やDVD資料を利用した活用講座の実施 ▷ DVD上映会(7・8月)の実施 ▷ データベースによる展示企画 ○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▷ 収集した資料のデジタルアーカイブ構築にむけての検討	
	(31) 利便性の高い各種データベースの提供の促進	○国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を活用した講座の実施 ○利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▷ 様々な関係機関と連携したセミナー等の実施 ○電子書籍(語学等)導入に向けた研究 ○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▷ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力				
	(32) 電子書籍の動向を踏まえた導入					
	(33) 価値ある資料のデジタルアーカイブ化と発信					
9 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実	(34) 職員のレファレンス能力の向上		○職員のレファレンス能力の向上《継続》 ○レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▷ レファレンス対応件数(15,000件以上) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力 ▷ 文部科学省主催の図書館地区別研修等に積極的に参加 ○レファレンスサービスの周知《継続》 ▷ 府教育委員会の広報ラジオに出演し、レファレンスサービスについて紹介 ○館内展示の充実《継続》 ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施 ▷ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置 ○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▷ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▷ 京都データスタアでのテーマ別資料リスト及び写真のオープンデータの公開	4	○職員のレファレンス能力の向上《継続》 ▷ 図書館地区別研修(近畿地区)の実施 ▷ 市町村出前研修の講師を担当(5回) ○レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▷ レファレンス対応(15,000件以上) ▷ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力 ○レファレンスサービスの周知《継続》 ▷ 府教育委員会の広報ラジオ等を活用した周知 ○館内展示の充実《継続》 ▷ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(30回以上) ▷ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置(20回以上) ○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▷ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▷ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタへの参加・協力(10月27日、於:ロームシアター)	
	(35) レファレンスサービスの周知と利用促進					
	(36) レファレンス協同データベースへの積極的な登録					
	(37) 多様な本や情報に出会える館内展示の展開					
	(38) テーマ別資料リストや調べ方案内の充実とオープンデータでの公開					
10 来館者への貸出サービス等の充実	(39) 貸出・返却時の利便性改善	○貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ○カウンターサービスの向上《継続》 ▷ 京都市図書館との本の相互返却本格実施 ▷ 市町村立図書館等との相互返却に向けた検討 ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できる図書館共同利用システム実証事業に参加	○貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ○カウンターサービスの向上《継続》 ▷ 京都市図書館との「返却資料お預かりサービス」(本の相互返却)を本格実施(H30.11.10~) (府立→京都市2,170冊、京都市→府立6,550冊) ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用(登録者11名)	4	○貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ○カウンターサービスの向上《継続》 ▷ 京都市図書館との本の相互返却実施《継続》 ▷ 市町村立図書館等との相互返却に向けた検討 ▷ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できるサービス《継続》 ▷ 個人貸出冊数増冊に向けた方策の検討	
	(40) カウンターサービスのより一層の向上					
11 非来館サービスの充実	(41) 各種の非来館サービスの周知と利用促進	○各種の非来館サービスの周知《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ○ホームページの掲載《継続》 ▷ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載	○各種の非来館サービスの周知《継続》 ▷ FM京都「府教委広報」番組で、ラジオ出演 ▷ 「子どもへの読書活動支援事業」放送(9月26日) ▷ 「京都市との返却本お預かりサービス」放送(1月9日) ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付 (広報資料配付28回、新聞掲載23回、NHK京都TV放映2回、KBS京都TV放映1回) ○ホームページの掲載《継続》▷ホームページお知らせ欄 156回更新	4	○各種の非来館サービスの周知《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ○ホームページに掲載する情報の充実《継続》 ▷ ホームページの改善に向けて検討	
	(42) ホームページに掲載する情報の充実					
12 障害者サービス等の拡充	(43) 大活字本やデジター・マルチメディアデジター図書などの充実		○大活字本 79冊、デジター、マルチメディアデジター図書23点購入 ○視覚障害者への貸出 757件 ○国立近代美術館点字パンフレット作成への協力 ○府立植物園「触地図」作成への協力 ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▷ 「心身障害者用ゆうメール」の館内運用の検討と府内状況調査 ○府の条例を踏まえた対応 ▷ 「聞こえの共生社会」ミニコーナーの設置(3月15日~) ○特別支援学校への情報提供などの支援強化 ▷ 特別支援学校長会役員会で意見を聴取 ▷ 京都府立高等学校図書館協議会特別支援ブロックの研修会を図書館で開催(12月27日 学校支援セットの説明及び館内視察)	4	○大活字本、デジター、マルチメディアデジター図書の充実《継続》 ○視覚障害者への貸出《継続》 ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▷ 障害のため府立図書館に来館できない人のためのサービス実施に向けて検討 ▷ 連続講座等での聴覚障害者のための手話対応 ○特別支援学校への支援強化《拡充》 ▷ K-Libnet参加とそれに伴う資料提供の充実	
	(44) 障害者差別解消法に基づく各種ガイドラインへの適切な対応	○障害者差別解消法に基づく各種ガイドラインへの適切な対応 ▷ 障害のため府立図書館に来館できない人のためのサービスについて検討(郵送サービス等) ▷ 「言語としての手話の普及を進めるとともに聞こえに障害のある人となない人が支え合う社会づくり条例」を踏まえた対応について検討				
	(45) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化(14再掲)					
13 「歴史ある府立図書館」の演出	(46) 鳳凰図(集書院天井画)の活用促進	○旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ○吉田初三郎鳥瞰図の活用《新規》 ▷ 館内見学会で活用(12回) ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▷ 2階ナレッジベースにおいて1ヶ月程度旧館家具・建設具材等を展示・公開 ▷ 鳥瞰図のパネル展示等の工夫	○旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月20日) ○エントランス展示「京都府立図書館のあゆみ(1)」(1月8日~3月27日) ○岡崎での開館110周年記念事業においてナレッジベースで展示 ▷ 平成31年2月2日(土)~24日(金) 入場延べ700名 ○「岡崎110年京都府立図書館」(パンフレット)5000部印刷、配布	5	○旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▷ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▷ 図書館地区別研修(近畿地区)開催期間中の展示会を実施(於:みやこめっせ) ▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施	
	(47) 旧館家具・建設具材等を活用した空間演出					
	(48) 府立総合資料館との連携による古典籍の複製等の展示					
	(49) 吉田初三郎鳥瞰図を活用した京都案内					
14 入りやすく利用しやすい空間の構成	(50) 来館者の目的に応じた資料や情報への的確な誘導	○来館者への的確な誘導《継続》 ▷ 風除室・エントランスに必要な情報を展示 ▷ コンシェルジュを試行的に実施(年間2回) ○屋外空間の活用《継続》 ▷ 府立高等学校と連携した野外での取組を実施(年間2回)	○来館者への的確な誘導《継続》 ▷ 風除室・エントランスに必要な情報をパネル展示 ▷ インターシップの学生によるコンシェルジュの試行(10.30~11.4) ○屋外空間の活用《継続》 ▷ 音の図書館:府立鳥羽高校吹奏楽部による演奏 8月11日(土祝) 17:20~18:00 観客約250名 ▷ 岡崎ときあかりannex2018:書道パフォーマンス実 9月15日(土) 府立洛西高校及び菟道高校書道部 観客約300名	4	○来館者への的確な誘導《継続》 ▷ 外国人のための案内の充実《新規》 ▷ 英語等の案内資料の作成及び館内表示の検討 ▷ 簡易翻訳機器のカウンター設置 ▷ 風除室・エントランスに必要な情報をパネル展示 ▷ インターシップの学生によるコンシェルジュの試行 ○屋外空間の活用《継続》 ▷ 府立高等学校と連携した野外パフォーマンスの実施	
	(51) 岡崎地区での立地を活かした屋外空間の活用					

平成30年度取組状況及び令和元年度事業計画について

項目	具体策	30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H31.3.月末時点)	30年度 評価	令和元年度事業計画 重点取組事項
15 職員の育成	(52) 研修・研究会等への積極的な参加	○研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の図書館地区別研修等へ参加 ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を試行的に実施(年間3回程度)	○研修・研究会への参加 ▷ 全国図書館大会(10月19日、20日)3名参加 ▷ 全国公共図書館研究集会(11月29日、30日)1名参加 ▷ 平成30年度図書館地区別研修(近畿地区)(2月5日～8日)3名参加 ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 相互貸借初心者研修(5月24日)、レファレンス(初級)研修(7月13日) ▷ 出前研修10月2日(京丹後市)、10月26日(亀岡市)、11月29日(八幡市)	4	○研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の研修等に参加 ○図書館地区別研修(近畿地区)開催(主管) 2020年1月28日～31日、於:みやこメッセ ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を本格実施 ○館内職員への研修 ・接遇研修(新規)の実施 ・心肺蘇生法(AED)実技研修・避難訓練等の実施 ○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「しよまろはん」への支援
	(53) 職員の自主研鑽の奨励や活動の紹介	○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「しよまろはん」への支援	○館内職員への研修 ▷ 心肺蘇生法(AED)実技研修・避難訓練等を実施 ○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 「しよまろはん」による、《没年調査ソングvol.3》の自主研究会への支援(9月22日、参加者15名) ○【再掲】官報検索データベース研修(1月24日)		○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「しよまろはん」への支援
Ⅲ 議論し発信する場を提供し、課題を解決する拠点となることにより、文化の創造と地域の活性化に寄与します					
16 「知的な交流の場」の創設	(54) 2階フロアの改修による議論しやすい「知的な交流の場」の設置	○ファシリテーターとなる職員の育成《継続》 ○NPO等との連携による交流企画《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組を実施 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加	○2階ナレッジベースの「知的な交流の場」としての活用 ▷ 岡崎ときあかりannex2018 プロジェクトマップ入門講座(7月1日、8月4日) ▷ 美術評論家による活用講座と参加者交流型ワークショップを実施 ⇒「トーク「名画の読み方」とワークショップ」 ▷ 岡崎での開館110周年記念事業においてナレッジベースで展示 平成31年2月2日(土)～24日(金) 入場延べ 700名 ▷ ナレッジベースを活用したサービスデザインチームの活動 ▷ 大学生によるイベントへの協力 ・「なんでもない地図を語る会」(11月10日) ▷ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」及びセミナーの実施(相談会:7/4、8/1、9/5、2/6、セミナー2/9実施)	3	○NPO等との連携による交流企画《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組を実施 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加 ▷ 日本政策金融公庫と連携した起業相談会の実施 ▷ 京都大学総合博物館等の企画展示に併せた展示会を実施
	(55) ファシリテーターとなる職員の育成				
	(56) フューチャーセンターや発表の場としての機能展開				
	(57) NPO等他の機関や団体との連携による交流企画の推進				
17 府立図書館の見える化の推進	(58) 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《継続》 ▷ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載 ▷ 図書館連続講座のポスターを近隣文化施設・京都市営地下鉄駅に掲示依頼	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 他府県職員4団体(12人)、他府県市町等議員3議会(9人)の見学受入 ▷ インタビュの学生による岡崎ワールドミュージックフェスタへの参加をおし、府立図書館サービスの周知(10月21日) ▷ FM京都放送のラジオ出演による広報(9月26日、1月9日) ▷ 報道機関への広報資料配付28回、新聞掲載23回、NHK京都TV放映2回、KBS京都TV放映1回	4	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ 大学生のゼミ誘致に伴う館内見学・説明会の積極的な実施 ▷ 見学者の自動化書庫の撮影推奨(見学者の特典として打ち出し) ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報活動及びポスターの広範な掲示 ▷ 毎月第3水曜日に館内見学会を実施《継続》 ○ SNSによる情報発信を試行《新規》 ・フェイスブック、ツイッターを活用した発信を試行 ・図書館HPの更新情報を転載及びHPへのリンクを貼る。 ○ ホームページの改善に向けた検討
	(59) SNS等の多様な広報媒体の活用	○ SNS等を活用した広報について研究	○ SNS等を活用した広報について研究		
18 各種講座の実施と情報発信	(60) 書籍と情報をめぐる多様な講座の開催	○ 多様な講座の開催《拡充》 ○ 各種講座の展開《拡充》 ▷ 図書館活用講座を毎月実施 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て図書館連続講座を実施(年間8回) ▷ 図書館連続講座及び一部活用講座では、講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布 ▷ 府の関係機関と協働した活用講座の実施	○ 連続講座の開催(年8回) ①「日本のマンガの不思議な力」京都精華大学教授:4月29日(日)105名 ②「仏教を学ぶことの意味」花園大学教授:5月27日(日)110名(満席) ③「信長・秀吉と初期風俗画」京都工芸繊維大学教授:6月17日(日)103名 ④「日本の有人宇宙活動」:宇宙飛行士:7月14日(土)110名(満席) ⑤「歴史都市のつくり方」京都府立大学副学長:9月9日(日)51名<雨天> ⑥「地図と景観から歴史を読む」京大大学院准教授:10月14日(日)100名 ⑦「月の文学史点描」国際日本文化研究センター教授:11月11日(日)70名 ⑧「京都の近代と都市景観」京大大学院教授:12月9日(日)85名 8回計683名 ○ 活用講座の開催 ・「ギョスターブ・モロー/クリムト」DVD上映(4月21日)3名 ・「信仰からみる京都」+成勝寺跡見学(5月12日)64名 ・「没後100年ドビュッシー」+ナクソス体験(6月30日)19名 ・「京菓子をデザインしてみよう」+ワークショップ(7月22日)29名 ・「歴史秘話ヒストリア西郷隆盛」DVD上映(8月12日)17名 ・「初めての俳句」+ワークショップ(8月19日)27名 ・「東山魁夷」DVD上映、「名画の読み方」(9月29日)15名 ・「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月20日)32名 ・「リュミエール!」DVD上映13名、「がんを正しく知ろう」(11月23日)32名 ・「藤田嗣治挿絵紹介」+ワークショップ(1月6日)48名 『府立図書館所蔵藤田嗣治挿絵集』冊子を作成、所蔵化) 年間計 371名参加 ○ 岡崎での開館110周年:記念講演 ▷「京都と近代」井上章一国際日本文化研究センター教授(2月3日)	5	○ 連続講座の開催《継続》 ▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て開催 ○ 各種セミナーの展開《継続》 ▷ 講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布 ▷ 府の関係機関と協働したセミナーの実施
	(61) 研究者・団体等と連携した各種講座の展開	○ 府の関係機関と協働した活用講座の実施	○ 府の関係機関と協働した活用講座の実施		
19 行政支援サービスの推進による府民への貢献	(62) 行政機関向けレファレンスサービス・複写サービスの実施	○行政機関向けのレファレンスサービス・複写サービス《新規》 ○府庁への資料の配送《新規》 ▷ 議会図書館を窓口とした本庁希望課室への図書資料の配送を実施(H30.4.3～) ▷ 本庁各課室からのレファレンスへの対応を開始	○行政機関向けのレファレンスサービス・複写サービス《新規》 ○府庁への資料の配送《新規》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送を開始(7課78冊・議会図書館324冊) ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業100冊《新規》	4	○行政機関向けのレファレンスサービス・複写サービス《継続》 ○府庁への資料の配送《継続》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送 ○京都府家庭支援総合センターへの貸出事業《継続》
	(63) 府庁への資料配送の実施				
20 サービスデザインチームによる新たな取組への挑戦	(64) 外部の力を活用したサービスデザインチームの設置	○ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組の企画と当日の運営 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加	○サービスデザインチームの活動 ▷ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」の継続実施(7月4日、8月1日、9月5日、2月6日) ▷ 府内市町村図書館によるウィキペディアタウンへの協力 ・南山城村(7月22日)、京丹後市(9月8日) ▷ 大学生によるイベントへの協力 ・「なんでもない地図を語る会」(11月10日) ▷ 日本政策金融公庫との共催企画 『商品・サービスデザインセミナー』(2月9日)	3	○ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組の企画と当日の運営 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加